

「パネルディスカッション」

基調講演と同様に、「オール岐阜」による木の文化の発信をテーマにパネルディスカッションを行いました。

○コーディネーター

涌井 史郎氏

(県立森林文化アカデミー学長)

○パネラー

隈研吾氏

和田 章氏

(東京工業大学名誉教授)

新聞 英一氏

(清水建設(株)設計本部副本部長)

上村 さや香氏



パネルディスカッションの様子

環境問題など、世界の潮流を踏まえ

た木材利用について、パネラーのみなさんからそれぞれの立場でご発言をいただきました。隈研吾さんは「岐阜県の高度な建築技術や、岐阜県産材の高い品質を踏まえ、木の新しい文化をつくる中で、岐阜県は中心的な役割を果たすはず」と述べられました。

【その他】

ミナモホール横のホワイエにおいて、県と協定を締結した事業者の県産材利用の取組みを紹介するパネルや、県内メーカーの家具などの展示を行いました。

また、フォーラム終了後、事前申し込みがありました60名の方々を対象に、20階の展望ロビーや議会棟などを巡る県庁舎見学ツアーを開催し、県の担当者が県産材を利用した施設や調度品の説明を行いました。

今後も県では、県産材利用の更なる促進を図るため、県民や事業者の方々への普及啓発の取組みを進めてまいります。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 058-272-8487

岐阜県林政部県産材流通課木造建築推進室

消費対策係まで

「第47回 東海地区みどりの少年団(隊) サマージャンボリー」を開催しました

8月4日に東海三県のみどりの少年団42名(引率者含む)が一堂に集い、「第47回東海地区みどりの少年団(隊)サマージャンボリー」を三重県伊賀市の「三重県上野森林公園」で開催しました。岐阜県からは、海津市みどりの少年団、北方小学校みどりの少年団、今年度新たに結成された本郷小学校みどりの少年団の3少年団19名(引率者含む)が参加しました。

今回も、新型コロナウイルス感染症に対応し、日帰りの日程での開催となりました。全体を2班に分けて午前と午後交互に「自然体験」と「ネイチャークラフト」に取り組みました。

自然体験では、公園の森の中に作られた木のブランコ、木のつなわたり、木のロープスライダーなど木の遊具で好きな遊びをしました。遊具の扱いに慣れるにつれ夢中になって遊んでいました。ネイチャークラフトでは、森で集めた木の実や小枝などの自然素材を使って自由な発想で作った楽器演奏者のネイチャークラフトを集め、森のオーケストラをつくりました。

日帰りのため短い時間でしたが、遊びや体験を通じて団員同士は、すぐに仲良くなり、絆や交流も深まり、夏休みの良い思い出になったと思います。

次回は、岐阜県での開催を予定していますので、県内からも多くのみどりの少年団の皆さんの参加を期待しています。

集合写真(みどりの少年団勢ぞろい)



バランス
とれるかな?



木のつなわたり

自然体験(森のゆうえんち)

うまく
乗れるかな?



木のロープスライダー

工夫して
貼り付けよう



森のオーケストラ作り

ネイチャークラフト(森のオーケストラ)

うまく
できたね



みんなの作品を集めて
オーケストラを作りました

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 田中 敏隆】